

ふくしのまち福岡

南区版



社会福祉法人福岡市社会福祉協議会
南区社協事務所(南区社会福祉協議会)
 福岡市南区塩原3-25-1 南区役所別館1階
 TEL: 092-554-1039 FAX: 092-557-4068
 Eメール: minamiku@fukuoka-shakyo.or.jp

福岡市社会福祉協議会
 マスコットキャラクター
 ここと



若久校区

ふれあいサロンでの新しい交流のかたち ～「eスポーツ」に挑戦！～

若久校区の「サロンいすみ」では、男性の参加が少ないことが課題となっていたことから、令和7年度、初めての試みとして「eスポーツ」(※)を体験するプログラムを開催しました。ゲームを通じて自然に会話や笑顔が生まれ、心と体のリフレッシュにつながったようです。

参加者やボランティアからは、「新しいことに挑戦できて楽しかった」「またやりたい」「ほかの人にも体験してほしい」といった声が寄せられました。

今後、定期的な開催や他のサロン・地域行事への展開など、楽しみながら多世代がつながる地域づくりに「eスポーツ」を活用していくべきと考えています。

(※)eスポーツ

エレクトロニック・スポーツの略で、電子機器を用いて行なう娯楽・ゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称



▲eスポーツでボウリング体験中!

弥永校区

スーパーで福祉体験 ～体験を通して考える思いやりと助け合い～

令和7年10月14日、弥永小学校の4年生を対象に、車いすとアイマスクの体験学習が行なわれました。

当日は、弥永校区社協や民生委員・児童委員、そして弥永・弥永西校区の事業所ネットワーク(※)「ほっとかれん隊」が協力し、体験の説明や見守りを行ないました。

車いす体験では、初めてスーパーでダイキヨーバリュー弥永店の協力を得て店内で実施しました。児童は車いすで店内を移動し、買い物中の不便さや支え合いの大切さを実感していました。

アイマスク体験では、専門職による説明や質疑を通して、視覚に障がいのある方の生活や感じ方への理解を深めました。普段の学校にも思わぬ“バリア”があることに気づくなど、新たな発見もあったようです。

こうした学びの機会を通して、地域全体で子どもたちの“思いやり”や“助け合い”的心を育んでいます。

(※)事業所ネットワーク

医療・介護・障がいなどの事業所が連携し、地域支援を行なう自主的ネットワーク



▲車いすで店内に入った子ども達とサポートする民生委員・児童委員



▲アイマスク体験で子どもたちが段差を降りる様子



「地球にやさしいウォークラン大会」 ～世代を超えた交流と地域美化の取組み～

三宅校区では、令和7年11月3日に世代間交流事業として、「地球にやさしいウォークラン大会」を開催しました。幼児からシニア世代の方まで、さまざまな年代の方が参加し、一緒にごみ拾いやゲームをしながらチェックポイントを回りました。地域美化と交流を兼ねており、校区社協だけでなく、三宅中学校の生徒や事業所のスタッフなど、たくさんの方が協力して本行事を行ないました。

世代を超えた交流の中で、環境への意識と地域の繋がりを再確認する機会となりました。



▲校区の歴史に関するクイズに取り組む様子



▲ウォークランをしながら地域のゴミ拾い活動

令和7年11月1日 RUN伴2025開催！

らんとも

「RUN伴」(※)は、参加者、応援者全ての方が主役となります。南区では4つのルートからオレンジのタスキをつないでリレーし、ゴールの五福の家(南区若久)を目指しました。

五福の家ではオレンジカフェ(認知症カフェ)と楽しい音楽やダンスなどのゴールイベントで盛り上りました。

たくさんのご支援ありがとうございました!

(※)RUN伴

認知症の人や家族、支援者、一般の人人が少しずつリレーしながらゴールを目指す認知症の啓発イベントです



▲南区RUN伴ゴールイベントin五福の家

ふれあい奨励金助成団体紹介 「親子広場ぽかぽか」

南区社協では、南区内で新たに地域福祉活動を始めるグループを対象に「ふれあい奨励金」という助成を行なっています。

ボランティアグループ「親子広場ぽかぽか」は、令和6年度のふれあい奨励金を活用し、乳幼児親子で気軽に遊びに来られる居場所を立ち上げ、活動を行なっています。

子育て中のお母さんたちが孤立しないよう、ボランティアが寄り添いながら支え合える場となることを大切に、今後も活動を続けていきます。

興味のある方は、団体のインスタグラムをチェックしてみてください。

助成に関するお問い合わせ: 南区社協



▲おもちゃを囲んで楽しく遊ぶ子どもたち

ご寄付のお礼

～福岡市南区医師会
50周年事業として
ご寄付いただきました～

福岡市南区医師会より、福岡市社協で作成・配付している「安心情報キット(※)」の作成費用として20万円のご寄付をいただきました。

南区内の高齢者等へ配付・活用してまいります。誠にありがとうございました。

(※)安心情報キット

緊急連絡先等を書いた紙を容器に入れて冷蔵庫に保管し、救急隊等がかけつけた際に活用するもの



この広報紙は共同募金配分金及び賛助会費を主な財源として作成しております。